

2019 出展票

チーム『吉村自然ワールド』

1. 出展者

チーム名	吉村自然ワールド
実行責任者（リーダー）	吉村 洲美子（一般社団法人 日本未来支援機構 代表理事）
責任者補佐（副リーダー）	小林 秀明（元迎賓館館長、光ミュージアム館長）
責任者補佐（副リーダー）	竹内 博（一般社団法人 日本作家クラブ 理事長）

2. 出展内容

「見る」プログラム

<概要>

- 1) 地球創生、恐竜絶滅、化石燃料、地球温暖化などのポスターを掲示
- 2) 巨鳥卵の展示は透明ケースを使用し子供達が触れることができます
 - * 世界最大の卵（絶滅した巨鳥「エピオルニス(ゾウドリ)」の世界一大きな卵）
ゾウドリは約 350 年前まで生息していた。卵はマダガスカル島で発見されたもの
- 3) 吉村卓三・動物学博士が収集した珍しい恐竜化石等を多数展示
 - * ケナガマンモスの皮膚と体毛・・・約 28000 年前の更新世時代のもの
 - * 恐竜(サルタサウルス)の卵化石・・・アルゼンチンで発掘された（約 7700 万年前のもの）
 - * 恐竜(プロトケラトプス)の卵化石・・・モンゴルの砂漠で発掘されたもの
 - * 恐竜(プロサウロロフス)の皮膚・・・アメリカ・モンタナ州で発見された化石にならない皮膚
 - * 恐竜のウンコ(糞化石)
 - * 世界最古の卵の殻(未発達の卵殻・・・プロトロチリスという絶滅した爬虫類(古生代ペルム紀)
 - * オオムガイ・・・生きた化石と言われている（太平洋のサンゴ礁に生息している）
 - * その他、ダチョウの卵、鳥の卵(南アフリカ)なども展示予定。
- 4) 吉村卓三・動物学博士の著作本を無料でご進呈
 - * 吉村自然ワールドに来場された方に、吉村卓三・動物学博士の著作本を、以下の 5 種類より 1 種類を選択して頂き、ご進呈いたします。（進呈数量に限りがあり、先着順になります）
「たまごのふしぎーたまごは生命のカプセル」・・・吉村卓三(著)
大型本：52 頁、出版社：オデッセウス、発売：2000/7/1
「たまごずかん」・・・吉村卓三(著)
文庫：95 頁、出版社：メイト、発売：2000/7/10

「なぜゾウとキリンは同盟を結んだのか!？」・・・吉村卓三(著)

単行本：189頁、出版社：コスモトゥーワン、発売：2003/10/30

「天才チンパンジー画伯アスカ 愛で描く作品集」・・・吉村卓三(編集)

単行本：59頁、出版社：アドグリーン企画・メイト、発売：2004/10/16

「光の塔」・・・吉村卓三(著)・サトウコウタ (絵)

絵本、出版社：LH 陽光出版、発売：2008/04

2008年・日本作家クラブ文芸賞受賞

「光のなかの子供たち」・・・吉村卓三(著)、佐藤辰郎(イラスト)

絵本、出版社：LH 陽光出版、発売：2012/06



吉村 卓三・動物学博士の著作 ※発売順に掲載

「たまごのふしぎーたまごは生命のカプセル」 吉村 卓三(著)

大型本：52 頁、出版社：オデッセウス、発売：2000/7/1



「たまごずかん」 吉村 卓三(著)

文庫：95 頁、出版社：メイト、発売：2000/7/10



「なぜゾウとキリンは同盟を結んだのか!？」 吉村 卓三(著)

単行本：189 頁、出版社：コスモトゥーワン、発売：2003/10/30



「天才チンパンジー画伯アスカ 愛で描く作品集」吉村 卓三（編集）
単行本：59 頁、出版社：アドグリーン企画・メイト、発売：2004/10/16



「光の塔」吉村 卓三(著)・サトウコウタ (絵)
絵本、出版社：LH 陽光出版、発売：2008/04
2008 年・日本作家クラブ文芸賞受賞



「光のなかの子供たち」吉村 卓三(著)、佐藤 辰郎(イラスト)
絵本、出版社：LH 陽光出版、発売：2012/06



以上